

令和7年度なんたん子育てフォーラムを開催しました！ (京都府PTA指導者研修会南丹大会)

～みんなで育もう 家庭・地域のたからである子どもたちを～
日時：6月22日(日)午後1時～ 場所：京都医療科学大学

当日は、保護者・PTA会員や学校教育・社会教育関係者など子育て支援に関係する方、**約200名**の参加がありました。
本フォーラムは、南丹教育局と南丹地区子育て支援協議会の主催で開催をしています。参加者の感想とともに紹介します。



講演

演題：「育児×笑い＝∞
～親も子どもも楽しく成長～」
講師：大阪成蹊大学 教育学部 准教授
福岡 亮治 様



参加者の声

専門分野の理科実験からスタート！
掌の紙に「曲がれ～！」と唱えると
紙が勝手にそりかえる…！？
“なぜ”？←これが大事！！



・とても楽しい講演でした。家庭での育児を話されることで
すぐ分かりやすく、なるほど！と思うことばかりでした。
中でも印象に残っているのは、「育児は地味で地道な努力
の積み重ね、その努力が実を結ぶ」と言われたことです。本
当にその通りだと実感しました。子どもを信じてたくさんの
経験とチャンスを与えて、子どもの夢を広げる育児もそうで
すが、こども園の子どもたちも同様にそのような関わりで
接していきたいと思いました。



・あっという間に感じた講演でした。わが子と早く会いたくなりました。帰った
らまず、最初の実験クイズをします。そして、子どものやる気を奪わない子育
てをこれからもやっていこうと思います。またお話を聞ける機会があったら
嬉しいです。

・親が一緒になって子どもといろいろなことに取り組む、挑戦する心を育てる
という育児の考えに心をうたれました。

ご自身の子育て経験から
“挑戦すること”の大事さを
教えていただきました。

・福岡先生のお話を聞いて、肯定的な声かけを意識的にしてあげる積み重
ねの大切さを改めて感じました。子どもは可能性の塊。とても響きました。
子ども達の可能性をどんどん伸ばせるかどうかは周りの大人次第だと引
き締まる思いでした。我が家も「挑戦」をモットーに育児を楽しみながら、
子どもの成長を楽しみたいです！



・子どもはみんな天才で生まれて来ていると言われた言葉が印象的でした。
それぞれが持って生まれた才能を生かして生きていける子になれるよう親は
サポートし、一緒に喜び楽しむことが大切だと感じました。子育ても、もうすぐ
終わりの時が近づいていますが楽しみたいです。

・わずかなことの積み重ね、大事ななあと思いました。また、家族で挑戦する
ことのおもしろさが伝わってきました。

開会あいさつ

大会宣言

令和7年度南丹地区子育て支援協議会委員の紹介



杉本 学 会長



藪本委員・田中委員



京都府南丹教育局長	杉本 学	一般社団法人 日本ファミリーナビゲーター協会 代表理事	田中 美賀子
学識経験者(保護司)	塚本 綏佳子	亀岡市小学校教頭会 会長 (亀岡市立種田野小学校 教頭)	東郷 敦
京丹波町社会教育委員	澤井 安子	南船学校保健会養護教員部会 会長 (京丹波町立下山小学校 養護教諭)	仲西 恭子
府PTA理事OB	荒木 真	南丹公立幼稚園こども園園長会 会長 (南丹市立園部幼稚園 園長)	西岡 典子
南丹保健所 福祉課	石川 真紀	川辺おやじの会 会長	平野 清久
南丹市立中央図書館 館長	上原 賀奈子	南丹保健所 保健課	福井 菜都女
京丹波町立丹波ひかり小学校 栄養教諭	榎川 久仁子	南丹市園部町民生委員児童委員協議会 主任児童委員	藪本 好央
亀岡市立保育所・こども園子育て支援推進協議会 会長(亀岡市立保津こども園主幹)	黒木 仁美	NPO法人 グローアップ 代表理事	山口 桂子
京丹波町教育委員会社会教育課 社会教育指導員	小森 誠	京丹波町ファミリー・サポート・センター アドバイザー	山崎 由樹

各分科会の様子

A分科会

みんなで遊ぼう ドキドキ☆ワクワク



- ・遊びながら学ぶ＝楽しいからもっとやりたい＝自分のものになっていくんですね。
- ・初めて会う方と楽しく参加できた。子どもの気持ちになって、カプラや制作遊びを楽しめました。

B分科会

いっしょに楽しむ 絵本の時間



- ・抑揚をつけて読んだり、子どもをひきつけて読めるようになったらいいなと思いました。子どもとのコミュニケーションのツールとして活用したいです。
- ・絵本のよさを改めて感じました。自分のお気に入りの絵本紹介もよかったです。

C分科会

こども食堂を通して食育を考えよう



- ・食育について様々な方の意見や思いを知ることができ、良かったです。食育というと、難しく考えていましたが、「いただきます、ごちそうさまを言う」「みんなで囲んでおいしく食べる」といった、ふだんの何気ないことが食育につながるのだと感じました。
- ・家族みんなで一緒に会話しながら食事できる事、幸せなんだと感じます。

D分科会

子ども達と共に楽しむ持続可能なPTA活動



- ・高校のPTA活動の現状を知る機会はなかったので新鮮でした。分科会でも他校種のPTA活動の交流ができ、大切なことは全て繋がっていると感じました。
- ・今の社会に応じた活動を工夫しながらも継続していくことの意義を感じる機会となりました。

E分科会

スマホとどう向き合っていますか？



- ・子どものスマホを持つタイミングに悩んでいたのが参加しました。いい点、悪い点について具体例をもって聞けて大変参考になりました。また男の子、女の子によってスマホの使い方が違うことも分かり良かったです。たくさんの意見が聞けて参加して良かったと思いました。
- ・みんな困っていることは同じだけれど、その解決方法はいろいろあっておもしろかったです。